

令和7年度「ふれ愛作品展」ご感想ノート

(公財)新潟県肢体不自由児協会

9-10(木) シュトゥッダー カイたいまじり

9/12

写真 兄・弟・ママ・先生・身近な人が写った愛を感じます。
 習字 "雨あがり、自分とお母さんが退院し、青空を見上げているような晴れやかな亭
 絵 "焚き火、見ていられずあたたかせが伝わってくる。

9/12.

立派な作品ばかりで感心しました。待ち受けていた絵
 や書が沢山ありました。

9/12

目標の違う感覚があり 学ぶため 色々
 生かすがあるんだなと気づきました。

9/12

五体まるまるが物よりもずっとずっと大変なのに
 家族との愛の深さを感じさせられました。

9/12

お一人お一人の^{いのち}「生命の輝き」みたいなものを強く
 感じました。周囲の方々の支えもさぞかし大変かと
 見えますが、多くの愛を受け取っているのでは
 ないか... とも思います。

とても上げまされる時間をいただきました。

ありがとうございます。

溢れる愛と光が注がれる未来に あつた方に
 降りそそぎます未来に。

9/12

肢体不自由児者の美術展が、43回の長さにわたり
 開催されていることを、はじめて知った。

作品を仕上げるのに、それだけの人達が相当の苦勞を
 されていると思うが、色々と感じることがあった。

人々の中にある力が榮耀されていることを思ふ。